

# 香港株式市場フラッシュ

## 京東健康と中国オンライン診療市場事情

リサーチ部 李一承

Tel: 03-3666-0707

E-mail: icheng.lee@phillip.co.jp



2020年12月22日号(2020年12月21日作成)

### ”ハンセンテック指数のスピード組み入れ第1号は京東健康“

香港株式市場の各種株価指数を算出するハンセン指数公司(HSI)が12/9、中国ECサイト大手のJD.com(9618)の傘下でオンライン医療サービス最大手の京東健康(6618)の主要指数への組み入れを発表。同社は12/8に香港市場で新規上場し、調達金額が約270億香港ドルとなった。これは米ナスダック市場(ADR)に次いで今年6月に香港市場でセカンダリー上場したJD.comに次ぐ規模だ。京東健康の初値は公募価格(70.58香港ドル)に対し94.5香港ドルとなり、12/15に一時136.7香港ドルまで上昇した。

HSIは、京東健康が時価総額の大きさにより主要指数の特別な組み入れ条件を満たしたことから、12/21の大引け後にH株指数やハンセンテック指数へ組み入れることを決めた。更に、MSCIやFTSEも相次いで同社株をグローバル・インデックスへ組み入れることを発表。H株指数やハンセンテック指数における同社株のウェイトがそれぞれ1.71%、8.0%となるほか、各指数への組み入れに伴う買い需要が発生する模様だ。

### ”業界最大手の京東健康がオンライン診療サービスに注力“

JD.comのヘルスケア部門として14年に設立された京東健康は2017年にオンライン診療サービスに進出。19年に本体からスピノブされた同社が異例の速さでIPOを果たした。同社事業は、医薬品・健康食品販売部門とネット医療サービス部門の2本柱である。20年6月期の売上高は、医薬品・健康食品販売が88%を占める一方、ネット医療サービスは12%にとどまる。

医薬品・健康食品販売部門では、直営のECサイト「京東大薬房」を通して処方薬を含む医薬品の販売を手掛けるほか、9,092社のオンライン医薬品ショップが出店するECプラットフォームを展開。また、同社が運営する医薬品B2Bサイト「京東医薬(薬京採)」には17万社以上の小売業者が参加。医薬品・健康食品販売部門の20年上期の流通取引高(GMV)が前年同期比1.7倍の339億元、売上高が同76.2%増の76.93億元。JD.comの物流サービス「京東物流」が230ヶ所の医薬品倉庫から全国200超の都市へ24時間年中無休での配達を担っている。

オンライン医療サービス部門では、「京東互聯網医院」と呼ばれるネット医療サービスを展開。今年9/20時点、自社所属医師171名のほか、提携先の医師が68,549名に上る。20年上期1日当たりネット診療数が前年同期比5.8倍増の86,100回を数えた。年間アクティブユーザー数は同35.5%増の7,250万人。1ユーザー当たり平均単価は同4.6%上昇の176元。同社は今年8月、家庭向けにホームドクターサービスの「京東ファミリー・ドクター」を開始した。1家族8名まで24時間対応のオンライン医療相談や診察が受けられる。今後5年間で5,000万家族のサービス加入目標を掲げている。ECサイト「JD.com」の20年上期の年間アクティブユーザー数が4億1,740万人に上ったことから、同社のネット医療サービスの裾野拡大が期待される。

### 京東健康の各指標一覧

項目	2017年	2018年	2019年	19年上期	20年上期
医薬品・健康食品(億元)	49.07	72.55	94.35	43.65	76.93
ネット医療サービスその他(億元)	6.46	9.14	14.07	6.23	10.84
GMV(億元)	204	297	432	198	339
年間アクティブユーザー(100万人)	43.9	50.5	56.1	53.5	72.5
1日あたりのネット診療数	12	1,378	19,390	14,835	86,100
医者数	854	5,219	9,466	7,491	21,457

出所:京東健康の目論見書よりフィリップ証券作成

### ”オンライン診療にいち早く取り組む中国“

中国では町の規模に応じて「一級病院(郷鎮級病院)」、「二級病院(県級病院)」、「三級病院(高度医療サービスを行う500床以上の市級病院)」に大別される。国家衛生健康委員会によると、2019年の三級病院の病床数が約278万床と病床全体の約30%にとどまるなか、三級病院での治療者数が全体の50%に達した。

大病院と中小病院との医療格差、および僻地医療の不足を背景として中国国務院は2018年4月、「インターネット+医療健康」の発展を促進する意見書を公布。同意見書には病院によるネット診療解禁のほか、オンラインファミリー・ドクター、医薬品のネット配送など医療分野におけるオンライン促進の方針が盛り込まれた。

また、同年9月には、国家健康衛生委員会がオンライン診療に関する3つの管理規範を公表。同規範には、ネット診療管理、ネット病院管理、遠隔医療サービス管理などが盛り込まれている。ネット診療には民間のITプラットフォームが欠かせないことから、アリババの「アリババ・ヘルス/阿里健康信息(241)」、テンセントグループの「好大夫在线」、「微医」、中国平安保険の「平安ヘルスケア/平安好医生(1833)」、JD.comの「京東互聯網医院」などがネット病院を整備し、オンライン分野における医療資源の連携に取り組んできた。今年年初からのコロナ禍とともに、アリババとテンセントが開発したアプリで感染リスクを証明する「健康碼(健康コード)」は今や外出時に欠かせない「通行手形」の機能を果たしている。

### ”急拡大続くオンライン診療市場と注目銘柄“

足元では、ネット診療の対象が軽症の患者や高血圧、糖尿病などの慢性病に限られているが、大容量通信5Gの普及に伴い、今後はネット医療の高度化が期待される。調査会社フロスト&サバリンによると、中国のオンライン診療市場規模は2016年の110億元から2020年には3倍の330億元に達し、2026年には1,980億元へと急成長が見込まれる。急拡大が続くネット診療市場において、京東健康のほか、同じく医薬品販売で強みを持つアリババ・ヘルスやネット診療に強みを持つ平安ヘルスケアが注目されよう。

### 中国オンライン診療市場規模の推移



出所:平安ヘルスケアの目論見書よりフィリップ証券作成

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>  
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。